



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年4月30日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <https://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 剛一
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 高島 幸宏 (TEL) 03(3231)6811
 四半期報告書提出予定日 2020年4月30日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の業績 (2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	9,571	4.5	1,252	—	1,317	—	862	△97.0
2019年12月期第1四半期	9,161	△34.2	△709	—	△656	—	28,522	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	30 74	30 73
2019年12月期第1四半期	1,016 43	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	123,967	113,138	91.3
2019年12月期	139,943	113,125	80.8

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 113,127百万円 2019年12月期 113,114百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	24 00	—	24 00	48 00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	24 00	—	24 00	48 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,600	△3.3	3,000	109.7	3,300	95.0	2,100	△92.3	74 80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2020年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	28,800,000株	2019年12月期	28,800,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	727,021株	2019年12月期	726,961株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	28,072,986株	2019年12月期 1 Q	28,061,131株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	2
(3) 研究開発・導入活動	3
(4) 業績予想などの将来予測情報	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績

当第1四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりです。

	2019年12月期 第1四半期累計期間	2020年12月期 第1四半期累計期間	増減額	増減率
売上高 (百万円)	9,161	9,571	410	4.5%
営業利益又は営業損失 (△) (百万円)	△709	1,252	1,962	—
経常利益又は経常損失 (△) (百万円)	△656	1,317	1,973	—
四半期純利益 (百万円)	28,522	862	△27,659	△97.0%

売上高は、薬価改定の影響のほか、抗HIV薬6品の流通経過措置終了に伴う手数料収入の減少があったものの、既存製品の維持・拡大に努めた結果、アレルギー領域において販売数量が伸長したこと等により9,571百万円と前年同期に比べ410百万円(4.5%)増加しました。

各フランチャイズ領域における主要な製品・商品の販売状況につきましては、以下のとおりです。

- ・腎・透析領域におきましては、「レミッチ(透析患者における経口そう痒症改善剤)」は主に薬価改定の影響により1,515百万円と前年同期に比べ395百万円(20.7%)減少しましたが、「リオナ錠(高リン血症治療剤)」は1,451百万円と前年同期に比べ28百万円(2.0%)増加しました。
- ・皮膚疾患領域におきましては、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン剤)」が1,224百万円と前年同期に比べ35百万円(2.8%)減少しました。
- ・アレルギー領域におきましては、アレルギー免疫療法のさらなる普及により「シダキュア スギ花粉舌下錠(アレルギー免疫療法薬)」は1,343百万円と前年同期に比べ1,095百万円(441.9%)増加し、「ミティキュア ダニ舌下錠(アレルギー免疫療法薬)」は1,104百万円と前年同期に比べ627百万円(131.7%)増加しました。

費用面におきましては、売上原価は4,449百万円と前年同期に比べ56百万円(1.3%)増加し、販売費及び一般管理費は研究開発費が減少したほか、前事業年度に実施した特別転身支援制度による人員数の最適化の影響等により3,869百万円と前年同期に比べ1,608百万円(29.4%)減少しました。

以上の結果、営業利益は1,252百万円(前年同期は営業損失709百万円)、経常利益は1,317百万円(前年同期は経常損失656百万円)となりました。四半期純利益は862百万円と前年同期に比べ27,659百万円(97.0%)減少しました。これは、前事業年度には特別利益に抗HIV薬6品の販売権返還に係る譲渡益があったことによるものです。

なお、当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、社内外への感染被害抑止及び当社従業員の安全確保の観点から、医薬情報担当者(MR)の医療機関への訪問自粛(緊急対応の場合等を除く)等の対応を行っております。

(2) 財政状態

当第1四半期会計期間末の総資産は、123,967百万円と前事業年度末に比べ15,976百万円(11.4%)減少しました。これは、投資有価証券が1,748百万円増加しましたが、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が12,158百万円、受取手形及び売掛金が6,137百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、10,829百万円と前事業年度末に比べ15,988百万円(59.6%)減少しました。これは、未払法人税等が9,310百万円、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が3,251百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が1,896百万円、買掛金が1,633百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、113,138百万円と前事業年度末に比べ12百万円(0.0%)増加しました。

(3) 研究開発・導入活動

当第1四半期累計期間の研究開発費の総額は57百万円です。

導入活動・研究（共同）開発活動の主な進捗及び成果につきましては、以下のとおりです。

- ・日本たばこ産業株式会社（以下、「JT」）と日本国内における共同開発及び販売に関する契約を締結しており、アトピー性皮膚炎を適応症として、JTが2020年1月に成人患者を対象とした日本国内における製造販売承認を取得したJAK阻害剤「コレクチム軟膏（デルゴシチニブ）」につきまして、2020年4月に薬価基準に収載されており、6月に販売を開始いたします。
- ・2020年1月、当社は、JTがDermavant Sciences GmbHと日本国内における皮膚疾患領域での独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結したアシル炭化水素受容体（AhR）モジュレーター（tapinarof）について、日本国内における共同開発及び販売に関する契約をJTと締結しました。
- ・2019年11月、当社は、BioCryst Pharmaceuticals, Inc.（以下、「BioCryst社」）と、同社が遺伝性血管性浮腫（Hereditary angioedema:HAE）発作抑制薬として開発を進めてきた血漿カリクレイン阻害剤「BCX7353（以下、「本剤」）」について、日本における独占的販売権に関するライセンス契約を締結しました。本剤は、ブラジキニン産生酵素を特異的に阻害することにより、遺伝性血管性浮腫（HAE）の急性発作の予防が期待される新規経口剤です。なお、本剤は、希少疾病用医薬品及び先駆け審査指定制度対象品目の指定を受け、日本国内における製造販売承認申請が行われており、製造販売承認取得後は、当社が本剤の販売を行う予定です。

現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2020年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

(4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症の拡大による影響額を算定することは困難であるため、前回発表（2020年2月6日「2019年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値を変更しておりません。今後、当社業績に与える新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が重大と見込まれることが明らかになった場合には、速やかに開示いたします。

なお、2020年4月実施の薬価改定の影響につきましては予想数値に織り込み済みです。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,773	6,446
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	37,796	25,637
受取手形及び売掛金	25,151	19,013
有価証券	33,150	33,202
商品及び製品	4,090	4,402
仕掛品	645	558
原材料及び貯蔵品	2,778	2,761
その他	632	385
流動資産合計	110,017	92,408
固定資産		
有形固定資産	2,778	2,626
無形固定資産	526	514
投資その他の資産		
投資有価証券	19,764	21,512
その他	6,856	6,905
投資その他の資産合計	26,621	28,418
固定資産合計	29,926	31,559
資産合計	139,943	123,967
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,752	4,119
未払法人税等	9,836	525
賞与引当金	444	860
役員賞与引当金	37	3
返品調整引当金	5	3
その他	8,866	3,519
流動負債合計	24,942	9,032
固定負債		
退職給付引当金	1,150	1,094
その他	725	702
固定負債合計	1,875	1,797
負債合計	26,817	10,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,429	6,429
利益剰余金	102,076	102,265
自己株式	△1,431	△1,431
株主資本合計	112,264	112,453
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	850	674
評価・換算差額等合計	850	674
新株予約権	11	11
純資産合計	113,125	113,138
負債純資産合計	139,943	123,967

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	9,161	9,571
売上原価	4,392	4,449
売上総利益	4,768	5,122
販売費及び一般管理費		
販売促進費	617	660
給料及び手当	1,242	864
賞与引当金繰入額	530	374
研究開発費	986	57
その他	2,100	1,913
販売費及び一般管理費合計	5,477	3,869
営業利益又は営業損失 (△)	△709	1,252
営業外収益		
受取利息	31	29
受取配当金	0	0
為替差益	—	19
その他	21	15
営業外収益合計	53	64
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	0	—
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益又は経常損失 (△)	△656	1,317
特別利益		
販売権譲渡益	40,614	—
特別利益合計	40,614	—
特別損失		
固定資産除却損	1	3
事業構造改革費用	9	5
特別損失合計	11	8
税引前四半期純利益	39,947	1,308
法人税等	11,424	445
四半期純利益	28,522	862

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

2020年12月期 第1四半期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
③ 設備投資の状況	P.1
④ 非資金項目	P.1
II 2020年12月期 第1四半期実績	P.2
① 四半期損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 研究開発の状況	P.5
III 2020年12月期 業績予想	P.6
① 損益計算書	P.6
② 製商品別売上高	P.8

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

※ 本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

2020年4月30日



鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

① 経営成績

2020年12月期 業績予想については、前回発表（2020年2月6日「2019年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値から変更はありません。

(単位:百万円)	2019年12月期 第1四半期 A	2020年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2019年12月期 実績	2020年12月期 予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	9,161	9,571	410	4.5	42,998	41,600	23.0
営業利益	△709	1,252	1,962	-	1,430	3,000	41.8
経常利益	△656	1,317	1,973	-	1,691	3,300	39.9
四半期(当期)純利益	28,522	862	△27,659	△97.0	27,367	2,100	41.1
(参考)							
研究開発費	986	57	△929	△94.2	2,956	1,000	5.7
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 1,016.43	30.74	△985.69		974.98	74.80	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 28.2	0.8	△27.4		27.3		
総資産経常利益率	(%) △0.5	1.0	1.5		1.4		
売上高営業利益率	(%) △7.7	13.1	20.8		3.3		
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 22.6	0.7	△21.9		22.5		

② 財政状態

(単位:百万円)	2019年12月期 A	2020年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	139,943	123,967	△15,976	△11.4
純資産	113,125	113,138	12	0.0
自己資本比率	(%) 80.8	91.3	10.5	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 4,029.30	4,029.75	0.45	

③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2019年12月期 第1四半期 A	2020年12月期 第1四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2019年12月期 実績	2020年12月期 予想
設備投資額	33	41	7	21.5	330	804
有形固定資産	19	4	△14	△74.9	203	541
無形固定資産	14	36	22	155.2	126	263

④ 非資金項目

(単位:百万円)	2019年12月期 第1四半期 A	2020年12月期 第1四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2019年12月期 実績	2020年12月期 予想
減価償却費	250	202	△48	△19.3	985	882
長期前払費用償却費	121	119	△1	△1.5	486	552

Ⅱ 2020年12月期 第1四半期実績

① 四半期損益計算書

(単位:百万円)	2019年12月期 第1四半期 A	2020年12月期 第1四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2020年12月期 予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	9,161	9,571	410	4.5	41,600	23.0
製商品売上高	8,702	9,405	702	8.1	40,980	23.0
腎・透析領域	4,113	3,478	△635	△15.4	14,870	23.4
皮膚疾患領域	2,039	1,987	△52	△2.6	9,290	21.4
アレルギー領域	1,293	2,582	1,288	99.6	11,050	23.4
その他	1,255	1,357	102	8.2	5,770	23.5
その他の売上高	458	166	△291	△63.7	620	26.9
売上原価	4,392	4,449	56	1.3	20,000	22.2
製商品売上原価	4,379	4,435	56	1.3		
その他の原価	13	13	0	4.5		
売上総利益	4,768	5,122	353	7.4	21,600	23.7
販売費及び一般管理費	5,477	3,869	△1,608	△29.4	18,600	20.8
販管費(研究開発費除く)	4,490	3,811	△678	△15.1	17,600	21.7
研究開発費	986	57	△929	△94.2	1,000	5.7
営業利益	△709	1,252	1,962	-	3,000	41.8
営業外損益	52	64	11			
経常利益	△656	1,317	1,973	-	3,300	39.9
特別損益	40,603	△8	△40,612			
税引前四半期純利益	39,947	1,308	△38,638	△96.7		
法人税等	11,424	445	△10,979			
四半期(当期)純利益	28,522	862	△27,659	△97.0	2,100	41.1

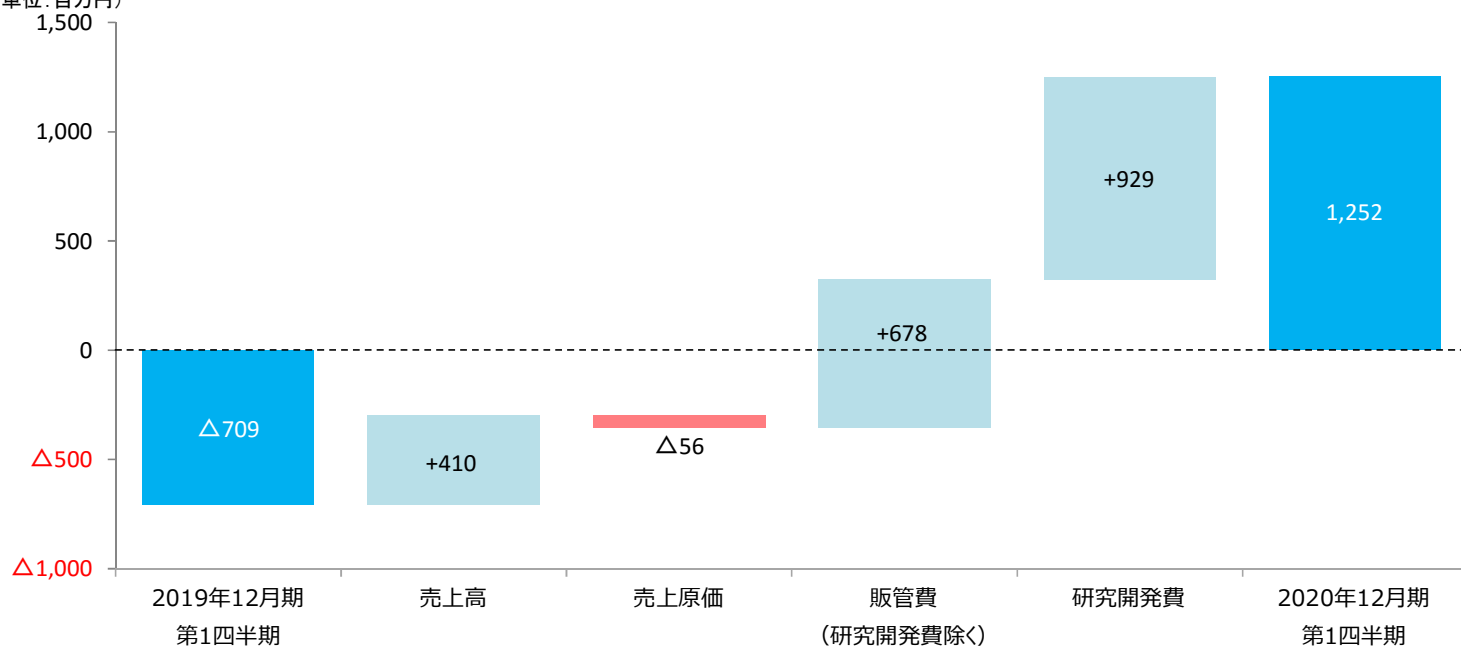
(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2019年12月期 第1四半期 A	2020年12月期 第1四半期 B	増減 B-A
売上原価	48.0	46.5	△1.5
販売費及び一般管理費	59.7	40.4	△19.3
研究開発費	10.8	0.6	△10.2
営業利益	△7.7	13.1	20.8
経常利益	△7.2	13.8	21.0
四半期純利益	311.3	9.0	△302.3

【対前年同期増減要因】

営業利益 (1,252百万円 対前年同期 + 1,962百万円)

(単位:百万円)



主な増減要因

売上高	: アレルゲン領域の伸長による増加、薬価改定による減少 抗HIV薬流通経過措置の終了による手数料収入の減少 ※製商品別売上高の増減については次頁をご参照ください。
販管費 (研究開発費除く)	: 前期実施の事業構造改革 (人員数最適化) による減少
研究開発費	: 前期実施の事業構造改革 (機構改革) による減少、共同開発費用の減少 (JTE-052、JTT-751)

経常利益 (1,317百万円 対前年同期 + 1,973百万円)

特記事項: 特になし

四半期純利益 (862百万円 対前年同期 △27,659百万円)

前期 抗HIV薬販売権の返還に係る譲渡益 40,614百万円

② 製商品別売上高

(単位: 百万円)	2019年12月期 第1四半期 A	2020年12月期 第1四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	8,702	9,405	702	8.1
[腎・透析領域]				
レミッチ	1,910	1,515	△395	△20.7
経口そう痒症改善剤				
リオナ錠	1,422	1,451	28	2.0
高リン血症治療剤				
ケイキサレート ※	439	402	△36	△8.4
高カリウム血症改善剤				
その他	340	108	△231	△68.0
計	4,113	3,478	△635	△15.4
[皮膚疾患領域]				
アンテベート ※	1,260	1,224	△35	△2.8
外用副腎皮質ホルモン剤				
ロコイド ※	397	395	△2	△0.7
外用副腎皮質ホルモン剤				
ゼフナート	256	258	2	0.8
抗真菌薬				
その他	125	108	△16	△13.5
計	2,039	1,987	△52	△2.6
[アレルギー領域]				
シダキユア スギ花粉舌下錠 ※	247	1,343	1,095	441.9
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬				
ミティキユア ダニ舌下錠 ※	476	1,104	627	131.7
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬				
その他	569	134	△434	△76.3
計	1,293	2,582	1,288	99.6
[その他]				
ビオスリー	626	673	46	7.5
活性生菌製剤(整腸剤)				
その他	628	684	55	8.8
計	1,255	1,357	102	8.2

※ 自社品

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位: 百万円)	2019年12月期 第1四半期 A	2020年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	4,034	5,168	1,133	28.1
自社品比率 (%)	46.4	55.0	8.6	-

③ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階（国内）					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
腎・透析領域								
JTT-751 「リオナ錠」	鉄欠乏性貧血	経口剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・Keryx Biopharmaceuticals, Inc.と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発（適応追加） ・日本たばこ産業(株)が2014年1月に高リン血症治療剤として製造販売承認を取得し、当社より販売中
JTZ-951	腎性貧血	経口剤				申請		<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)が2019年11月に製造販売承認申請
皮膚疾患領域								
JTE-052 「コレクテム軟膏」	小児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
アレルギー領域								
TO-203 「ミティキュア ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II / III 終了※			<ul style="list-style-type: none"> ・ALK-Abelló A/Sと日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ※今後の開発方針について検討中

前回公表時（2020年2月6日）からの変更点

・JTE-052「コレクテム軟膏」（アトピー性皮膚炎）は2020年6月24日に販売を開始（前回公表時：開発段階「承認」）

上記のほか、以下の契約を締結しております。

・2020年1月 日本たばこ産業(株)がDermavant Sciences GmbHと日本における皮膚疾患領域での独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結したアリル炭化水素受容体（AhR）モジュレーター（tapinarof）について、日本における共同開発及び販売に関する契約（日本たばこ産業(株)との共同開発）

（参考）

・2017年10月に日本たばこ産業(株)が、EirGen Pharma Limitedと慢性腎臓病患者における二次性副甲状腺機能亢進症（SHPT）治療薬であるcalcifediol徐放製剤（米国での販売名「RAYALDEE®」、OPKO Health, Inc.が開発及び販売）について、日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した旨、また、製造販売承認取得後の販売については、当社が行う予定である旨、公表しております。

当社の親会社である日本たばこ産業(株)（うち医薬事業部門）とは、医薬品に関する製品及びサービスにおいて、各々の強みを生かし、当社は主に製造と販売の機能を担っており、親会社は研究開発の機能を担っております。なお、親会社の研究開発の状況は、日本たばこ産業(株)ウェブサイト上の「医療用医薬品臨床開発状況」をご参照ください。

<https://www.jti.co.jp/investors/library/business/briefing/index.html>

Ⅲ 2020年12月期 業績予想

2020年12月期 業績予想については、前回発表（2020年2月6日「2019年12月期 決算短信(日本基準)（非連結）」）の予想数値から変更はありません。

① 損益計算書

(単位:百万円)	2019年12月期 実績 A	2020年12月期 予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
売上高	42,998	41,600	△1,398	△3.3
製商品売上高	40,641	40,980	338	0.8
腎・透析領域	18,005	14,870	△3,135	△17.4
皮膚疾患領域	9,049	9,290	240	2.7
アレルギー領域	7,627	11,050	3,422	44.9
その他	5,959	5,770	△189	△3.2
その他の売上高	2,356	620	△1,736	△73.7
売上原価	20,702	20,000	△702	△3.4
売上総利益	22,295	21,600	△695	△3.1
販売費及び一般管理費	20,864	18,600	△2,264	△10.9
販管費（研究開発費除く）	17,907	17,600	△307	△1.7
研究開発費	2,956	1,000	△1,956	△66.2
営業利益	1,430	3,000	1,569	109.7
経常利益	1,691	3,300	1,608	95.0
当期純利益	27,367	2,100	△25,267	△92.3

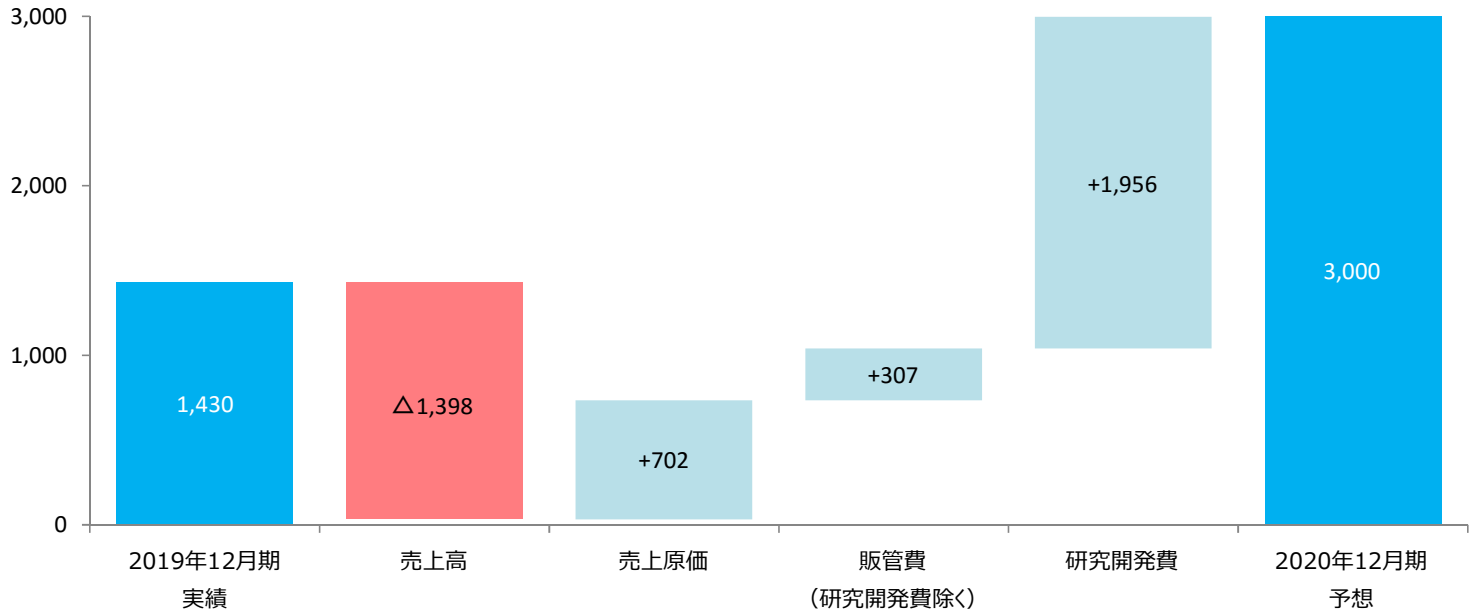
(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2019年12月期 実績 A	2020年12月期 予想 B	増減 B-A
売上原価	48.1	48.1	0.0
販売費及び一般管理費	48.6	44.7	△3.9
研究開発費	6.9	2.4	△4.5
営業利益	3.3	7.2	3.9
経常利益	3.9	7.9	4.0
当期純利益	63.6	5.0	△58.6

【対前期実績増減要因】

営業利益 (3,000百万円 対前期実績 + 1,569百万円)

(単位:百万円)



主な増減要因

売上高	: 薬価改定による減少、アレルギー領域の伸長による増加 抗HIV薬流通経過措置の終了による手数料収入の減少 ※製商品別売上高の増減については次頁をご参照ください。
売上原価	: 販売品目の構成変化 (自社品比率の上昇) による減少
販管費 (研究開発費除く)	: 前期実施の事業構造改革 (人員数最適化、コスト低減等) の通年効果による減少
研究開発費	: 前期実施の事業構造改革 (機構改革) の通年効果による減少、共同開発費用 (JTT-751) の減少

経常利益 (3,300百万円 対前期実績 + 1,608百万円)

特記事項: 特になし

当期純利益 (2,100百万円 対前期実績△25,267百万円)

前期 抗HIV薬販売権の返還に係る譲渡益	40,614百万円
事業構造改革費用 (割増退職金等)	4,504百万円

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2019年12月期 実績 A	2020年12月期 予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	40,641	40,980	338	0.8
[腎・透析領域]				
リオナ錠	6,630	6,620	△10	△0.2
高リン血症治療剤				
レミッチ	8,693	6,350	△2,343	△27.0
経口そう痒症改善剤				
ケイキサレート ※1	1,907	1,810	△97	△5.1
高カルウム血症改善剤				
その他	773	90	△683	△88.4
計	18,005	14,870	△3,135	△17.4
[皮膚疾患領域]				
アンテベート ※1	5,439	4,920	△519	△9.6
外用副腎皮質ホルモン剤				
ロコイド ※1	1,630	1,490	△140	△8.6
外用副腎皮質ホルモン剤				
ゼフナート	1,454	1,360	△94	△6.5
抗真菌薬				
コレクチム軟膏 ※2	-	1,070	1,070	-
外用ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤				
その他	524	450	△74	△14.2
計	9,049	9,290	240	2.7
[アレルギー領域]				
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※1	3,654	6,340	2,685	73.5
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬				
ミティキュア ダニ舌下錠 ※1	2,749	4,150	1,400	50.9
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬				
その他	1,223	560	△663	△54.2
計	7,627	11,050	3,422	44.9
[その他]				
ビオスリー	2,843	2,990	146	5.1
活性生菌製剤(整腸剤)				
その他	3,115	2,780	△335	△10.8
計	5,959	5,770	△189	△3.2

※1 自社品

※2 「コレクチム軟膏」は2020年6月24日に販売を開始いたします。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2019年12月期 実績 A	2020年12月期 予想 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	19,068	21,600	2,531	13.3
自社品比率 (%)	46.9	52.7	5.8	-